

## 7 主要プロジェクト

主要プロジェクトは、各基本方針を具体化していくリーディングプロジェクトとして位置づけます。

### 1. みどりの財産の次世代への継承 西山総合保全プロジェクト

#### ◆目的

市民のみどりの財産である西山の多様な緑地機能の維持向上を図るため、平成 17 年に発足した森林所有者・地域住民・環境団体・企業・学識経験者・行政などの関係者による西山森林整備推進協議会と連携し、西山森林整備構想に基づき長期的かつ継続的な整備・保全を進めます。

#### ◆プロジェクトの基本方針

「西山森林整備構想（平成 27 年 4 月改定）」に基づき、森林整備を進めていきます。

森林整備の目標

「美しく、楽しく、健全な恵みの森」を保全育成します

- 1) 山麓部や入り込みの多いところでは… 西山の緑の恵みを楽しむ里山林へ
- 2) 山の奥地では… 豊かな自然の山へ還していく

#### ◆具体的な取り組み・アプローチ

西山森林整備推進協議会と連携し、以下の整備計画を推進します。

##### ○森林整備計画

- ・森林の有する多面的機能を発揮させるヒノキ・スギの森づくり計画
- ・二次林における立地条件や利活用面を踏まえた豊かな森づくり計画
- ・美しく趣き深い西山の竹林を保全育成する計画
- ・獣害対策の計画
- ・防火帯の設置計画
- ・木竹資源の利活用計画

##### ○基盤整備計画

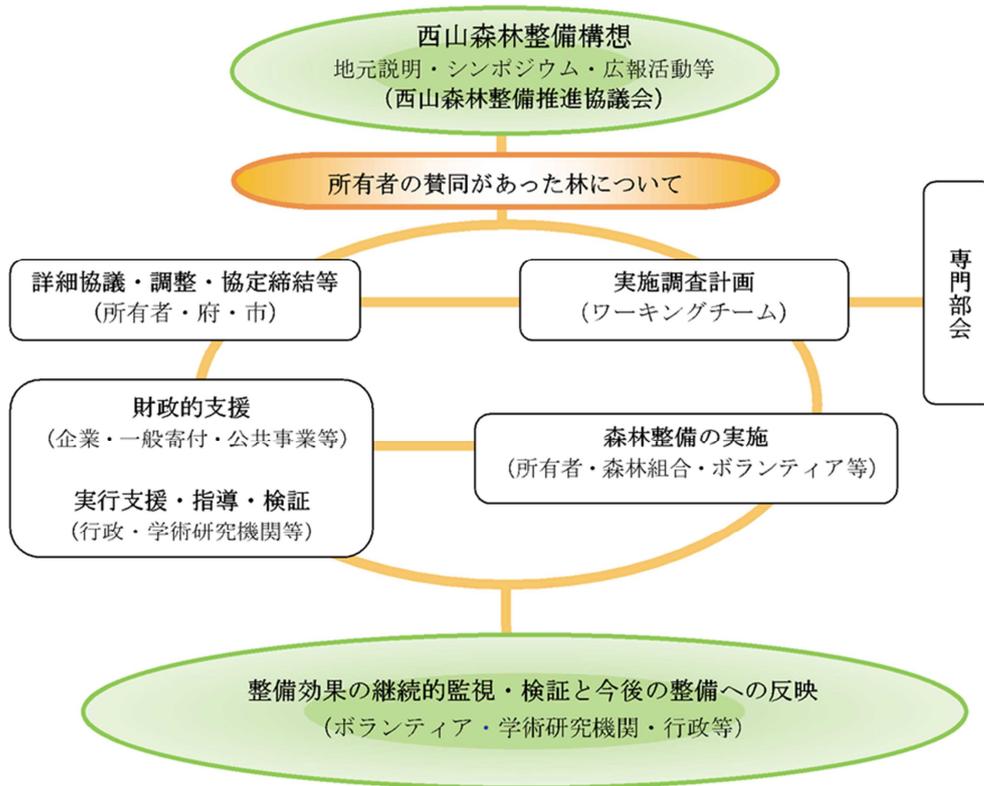
- 1) 作業道・林道の整備
- 2) 遊歩道の整備
- 3) 西山の森の保全や利用の拠点としての施設整備
- 4) 環境保全基盤の整備

##### ○環境教育（次世代教育）の場としての整備計画

- ・西山森と水の学校
- ・西山キャンプ場周辺の整備
- ・里山施業体験
- ・里山の観察、記録
- ・住民活動を促進するための啓発活動

<森林整備実施の流れ>

森林所有者と幅広い主体が協働し、森林整備を進めます。



## 2. みどりの財産の次世代への継承 小畑川緑地帯形成プロジェクト

### ◆目的

みどりの少ない市街地にあって、小畑川は豊かな自然とみどりを提供する水辺空間となっています。小畑川がもつ自然緑地としての機能を最大限活用すべく、市民の身近な公園としての利用を図ることを目的とします。

### ◆プロジェクトの基本方針

- 河川緑地：河川緑地の全区間にわたる市民参加の仕組みづくり
- 川辺の路：堤防遊歩道、水辺の小径の全川連続化
- サクラ並木：右岸側堤防沿い延長5割を実現
- 環境：天然アユが遡上する川の回復
- 「緑の回廊構想」の策定と事業化

### ◆具体的な取り組み・アプローチ

#### ・市民参加による河川緑地の形成

- \* 飛び石、水辺の小径の整備と管理の推進
- \* 草刈やゴミ拾い等クリーン作戦の拡充
- \* サクラ堤整備事業導入の検討
- \* サクラ植栽の支援制度等の検討（堤内地側工場・企業グラウンド、住宅地等）

#### ・生き物の生息環境の回復

- \* 瀬・淵の再生
- \* 魚類等、水生生物等の回遊に配慮した魚道やバイパス等の確保
- \* 砂や石、河川植生で構成される水辺環境の回復
- \* 自然生態に配慮した除草、清掃等の実施

#### ・散策の道の連続化

- \* 市民参加による四季の花道づくりの推進
- \* 夕涼み広場等身近な利用拠点の配置

#### ・周辺緑地等の保全と活用

- \* 周辺広場や学校グラウンド等と一体となった公園的利用の推進
- \* 隣接する社寺林の保全

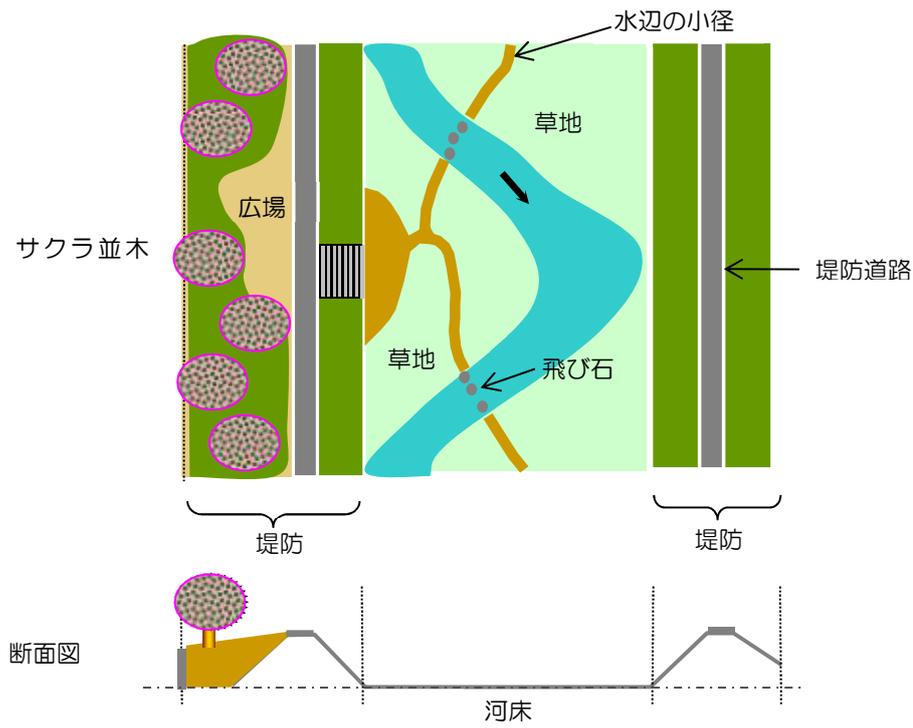


図 小畑川緑地帯形成のイメージ

### 3. 長岡京らしいみどりの保全・育成 みどりの公共施設プロジェクト

#### ◆目的

住民のコミュニティの核となっている市役所等各公共施設の緑化や、その周辺の緑地資源との連携など、地域のみどりの拠点としての機能の充実を図り、市民の身近な緑地ニーズに応えることを目的とします。

#### ◆プロジェクトの基本方針

緑化にあたっては、キリシマツツジなど長岡京らしい樹種を活用していきます。

#### ◆具体的な取り組み・アプローチ

公共施設や周辺環境の条件を踏まえて、潤いのあるみどりの空間を創出することを目標に、以下のような取り組みを検討します。

##### ○公共施設の緑化

公共施設における花壇やベンチの整備のほか、屋上や壁面の緑化、道路側への木陰の創出など、みどりの拠点形成に向けた緑化を推進します。

##### ○学校敷地の緑化

学校敷地における記念植樹や花壇、学校での生き物の生息環境づくりなどを通じて子どもたちへの環境教育の充実と、周辺環境や景観にも配慮した計画的なみどり豊かな学校環境づくりを進めます。

##### ○学校グラウンドの芝生化の検討

市街地の貴重なオープンスペースを潤いある緑空間にするとともに、子どもたちが安全で快適にスポーツ活動や学習、遊びなどができる環境として、学校グラウンド等の芝生化を推進します。芝生化やその管理にあたっては、児童や周辺住民等がともに楽しみながら参加でき、みどりの管理についても学習の一環としてできるような内容とします。

##### ○周辺の緑地資源との連携

公共施設、特に学校に近接する古墳・遺跡等の歴史的資源や農地、樹林・竹林、河川等の緑地資源を総合学習や環境を学ぶ場として活用するなど、相互の連携を図るなかで、個々に特徴あるみどりの学校づくりやみどり豊かな公共施設の形成を目指します。

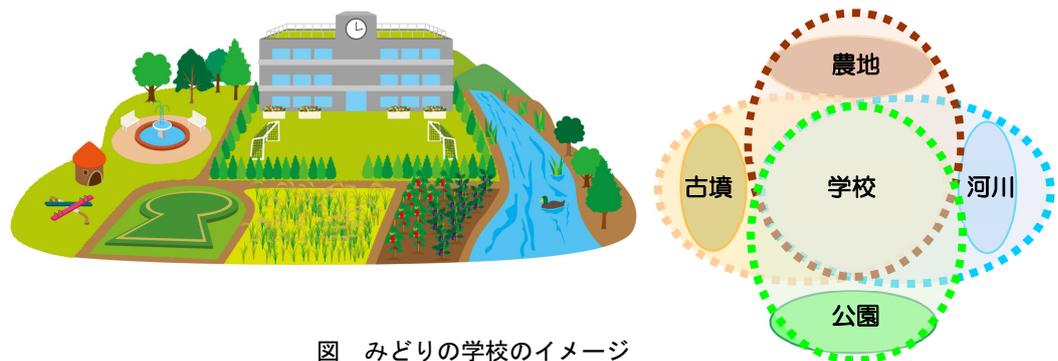


図 みどりの学校のイメージ

## 4. 身近なみどりの創出とネットワークの形成 緑化重点地区整備プロジェクト

### ◆目的

都市公園等の緑地空間のきめ細かな配置や住宅地・商業地等における重点的な緑化施策を展開することにより、まちの顔となるみどり豊かな中心市街地（面積 99ha）の形成を図ることを目的とします。

### ◆プロジェクトの基本方針

緑化にあたっては、キリシマツツジなどを活用した長岡京らしい樹種の導入を図ります。

また、みどりに関する各種制度や他の主要プロジェクト等との連携を図り、以下の方針にもとづく取り組みを実施します。

- まちの顔にふさわしい文化と交流をテーマとする緑化を推進します。
- 市民・事業者・行政の協働による拠点緑化の推進、安全で快適な緑の散策路ネットワークを形成します。
- 身近に利用できる多機能な都市公園を確保します。

### ◆具体的な取り組み・アプローチ

#### ①まちの顔にふさわしい文化と交流をテーマとする緑化を推進します

##### 【みどりの交流拠点づくり】

まちの顔であるJR長岡京駅前の交流拠点となっているバンビオ広場公園の利活用を図るとともに、建物や建物周辺の緑化を図ります。さらに、竹をモチーフにしたデザインやキリシマツツジなどを活かした連続的な街路樹の整備により、JR長岡京駅前のシンボル空間を形成します。

##### 【みどりのシンボルロードづくり】

JR長岡京駅から長岡天満宮に至る長岡京駅前線を本市のみどりのシンボル軸として位置付け、ゆとりある歩道の確保と豊かな街路樹の形成を図ります。

#### ②市民・事業者・行政の協働による拠点緑化の推進、安全で快適なみどりの散策路ネットワークを形成します

##### 【拠点緑化の推進】

みどりの少ない市街地のリーディングモデルとして、隣接する市営住宅等と一体となった公園緑化の推進、みどりの学校づくり、その他官公庁施設等の公共施設緑化を重点的に推進します。

##### 【みどりの散策路ネットワークの形成】

通学や通勤、買い物等で日常的に利用されている道空間を「みどりの散策路ネットワーク形成プロジェクト」のモデルとして展開します。

#### ③身近に利用できる多機能な都市公園を確保します

市街地中心に位置する長岡京市庁舎の建替にあたっては、緑地の確保に配慮しながら検討を進めます。

さらに、生産緑地の活用、宅地開発に伴う公園等の適切な配置などを図ります。

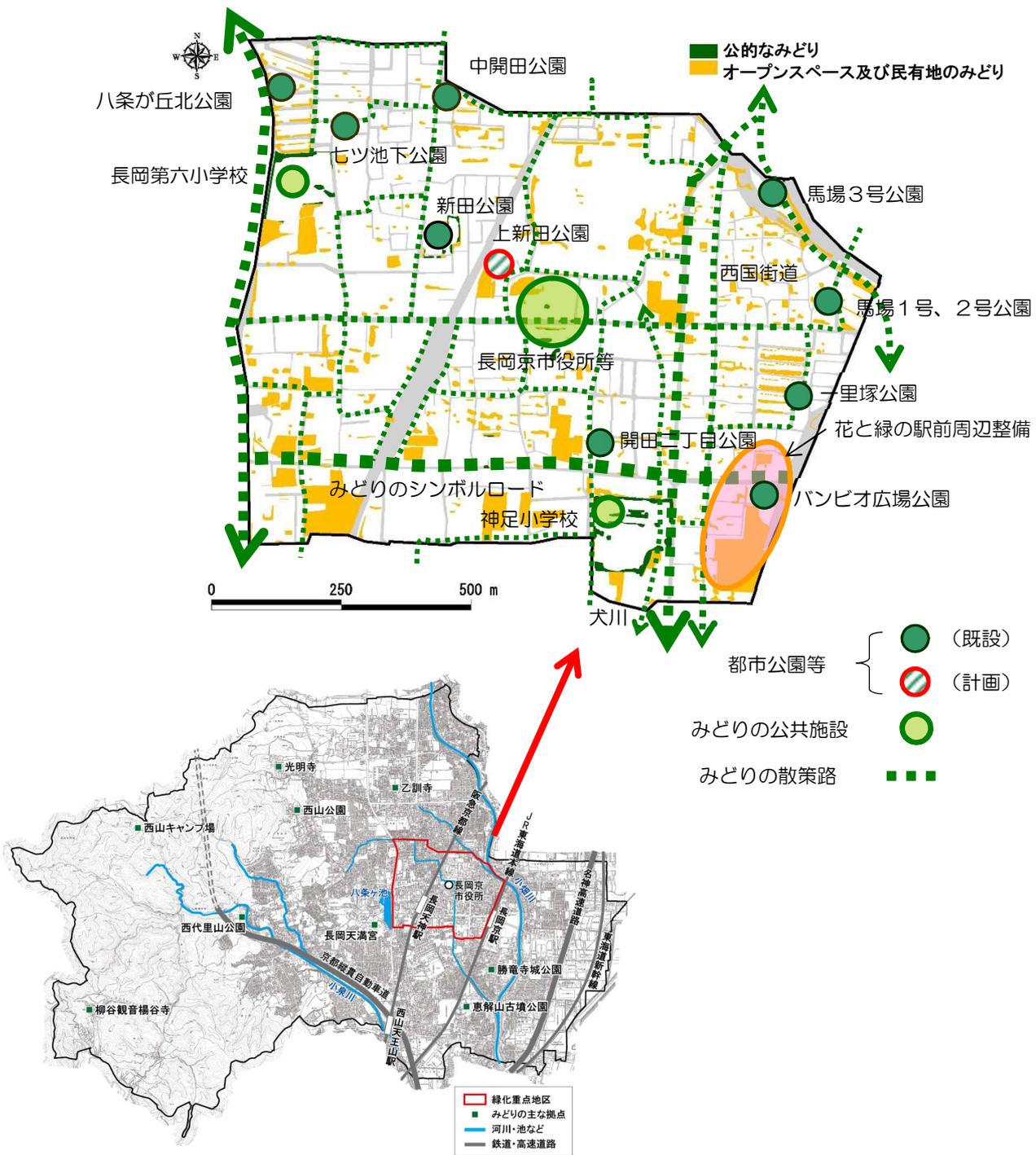


図 緑化重点地区プロジェクト計画イメージ

## 5. 身近なみどりの創出とネットワークの形成

### みどりの散策路ネットワーク形成プロジェクト

#### ◆目的

身近なコミュニティ単位である小学校区を中心に、地域に分布する多様なみどり資源を掘り起こし、これらを散策路でネットワークすることで、地域の人たちのみどりに対する意識の向上、市民相互が触れあう機会の増大、地域教育や環境学習の素材提供などに資することを旨とする。各種事業の連携あるいは市民・事業者・行政の協働を進めるものです。

#### ◆プロジェクトの基本方針

##### ○地域のみどりの宝探し

地域内に介在する樹林地や農地等のうち、日常的に重要と感じるものについて、市民からの情報や意見等をもとに整理します。抽出されたみどりの資源については、公共施設空間としての保全のほか、民有地については樹木保存や市民緑地等に関する制度適用の検討等を行います。

##### ○みどりの散策路の指定と沿線緑化

校区内の広範な市民の協議のもと、みどり資源をつなぐ道としてみどりの散策路を指定し、その沿線での残された樹木の保全、川の中を歩けるリバーウォークなど、自然とふれあえるみどりの環境づくりを進めます。

道の沿線での花壇作りや清掃、樹木等の管理については、「みどりのサポーター制度」の活動を推進します。さらに沿道住宅地における生垣緑化や商業地区での壁面緑化など、みどり豊かな道空間となるための手法について検討し、市民・事業者・行政の協働で沿線の緑化を促進します。

また、高齢者等にも快適に利用できるよう、バリアフリーに向けた段差の解消や炎天下でも歩ける木漏れ日の道としての条件を確保します。

##### ○拠点となる都市公園の整備

本市を代表する西山公園の未供用区域については、基本計画を見直し、基本計画に基づき長期的な整備を進めます。

#### ◆具体的な取り組み・アプローチ

校区内在住の市民、ボランティア団体、緑地行政担当者等からなる委員会を立ち上げ、各校区内でみどりの保全と育成を目指した目標プラン「みどりの散策路ネットワークプラン」を策定します。

このプランは、「みどりの基本計画」に位置づけ、既存の具体的な施策を取り込みながら、市民参加を中心にした推進プログラムを策定することとし、校区での市民の合意形成が得られたところから優先的にプログラムを策定し、実施していくものとします。

##### (プログラム：例)

- ・気になる木の指定と樹名板づくり
- ・道草樹冠トンネルづくり
- ・道端自然の本づくり
- ・カブトムシの森の指定と観察会の開催
- ・1日リバーウォーク（川歩き）の企画
- ・生き物案内板の設置
- ・花畑づくり
- ・シイの実採取
- ・ドングリや木の実を使った工作
- ・竹取りおよび竹細工
- ・公園清掃
- ・草刈り体験
- ・道端の植物観察会の企画
- ・花づくり（花壇デザイン→堆肥づくり→花植え）
- ・水辺のいきもの観察会 など



図 みどりの散策路ネットワーク

みどりの散策路形成にあたっては、以下の取り組みを行います。

・みどりについての意識啓発

- \* 市民参加によるみどりの調査の企画・実施
- \* みどり関連制度の市民へのPR

・みどり資源の保全・活用

- \* 沿道のみどりの保全PR活動の推進
- \* 市民・企業参加による沿線の自然環境の保全
- \* 休耕田活用システムの検討

・沿道のみどりの創造・育成への協力

- \* 沿線宅地等での緑化の推進
- \* 工場周辺の緑化ガーデン化の促進
- \* オープンガーデンの推進
- \* フラワーポット等による緑化の推進
- \* 企業参画の清掃活動
- \* 植栽コーナーの確保

・長岡京らしい散策路などの抽出と連携

- \* 竹の径づくり(管理された竹林内を巡る径)、キリシマツツジの散策路づくり
- \* 西国街道の連続化
- \* 歴史の道調査の企画・実施の検討
- \* 光明寺道、柳谷道、丹波街道等でネットワークとする花・みどりの回遊ルートの検討

・みどりに関する制度の活用

- \* 竹垣の奨励(生垣設置費助成金交付制度への追加 等)
- \* 安全歩行エリアにおける道路緑化の推進

## 6. 環境にやさしいまちづくりの推進

### 身近なみどりを活かすまちづくりプロジェクト

#### ◆目的

子どもから大人までが“環境にやさしいまちづくり”に関わることでできる機会を提供することを目的とします。その際に、生き物についてだけではなく、水循環など幅広い自然のしくみについても学習を深めていけるように後押しします。

#### ◆プロジェクトの基本方針

市民の環境保全活動の機会を確保し、身近な生き物との共生や、みどりの果たす役割について考える場ともなるように、以下の基本方針に基づく取り組みを実施します。

- 幅広い年齢層の市民が地域の身近な自然に愛着を持ち、良好な自然環境を守り、育てる取り組みを推進します。
- ゲンジボタルなどの希少な生き物との共生を目指し、長期的な視野での取り組みを推進します。
- プロジェクトの中で、みどりの持つ生物多様性の維持機能や水循環の機能など、環境にやさしいまちづくりを進める上で必要な情報を市民に提供していきます。

#### ◆具体的な取り組み・アプローチ

##### ・市民参加による身近な環境の維持・保全活動

- \*小畑川、小泉川などの草刈やゴミ拾い等クリーン作戦の拡充
- \*学校や地域などにおける生き物の生息地の創出

##### ・ゲンジボタルの保全活動

- \*小泉川における生息環境の保全
- \*西代里山公園における生息環境づくりの推進
- \*小泉川におけるホタル鑑賞イベントの実施

##### ・多様な生き物の生息環境の保全と環境学習の推進

- \*生き物の生息環境ネットワークの観点からの川沿いの樹林や農地等の保全
- \*小畑川や小泉川における生き物の生息環境づくりによる環境学習の推進

##### ・雨庭づくりの推進

- \*公共施設における雨庭づくりの検討
- \*雨庭の普及啓発活動の推進
- \*農地の宅地利用に際しての雨庭づくりの推進
- \*雨庭づくりを通じた環境学習の推進

雨庭とは・・・



アスファルトや屋根などの不透水性舗装に降った雨を集め、一時的に貯留し、浸透させるための植栽空間（庭）です。雨庭は設置場所、サイズ、形態などが幅広く、工夫次第で自由にどこにでも導入できるものです。

### 雨庭の7つのメリット

雨庭には以下のような多面的な機能があります。

- 洪水調節・湧水保全・・・都市型水害のリスクを低減し、湧水も保全します
- 水質浄化・・・雨水浸透の中で、汚染物質の分解、吸着により、水質浄化します
- 生物多様性の保全・・・絶滅危惧植物の生息場所となり得ます
- ヒートアイランド現象の緩和・・・雨水が空へ還り、ヒートアイランドを緩和します
- 修景・・・まちに彩りを与え、魅力的な景色をつくります
- 身近な自然体験の提供・・・まちなかの身近な場所で市民が自然体験できます
- コミュニティの交流促進・・・雨庭づくりでコミュニティの交流が期待できます

### 雨庭の事例

雨庭の事例には以下のように様々なものがあります。



京都学園大学 京都太秦キャンパス内の雨庭  
京都市

築山の裾で雨水を一時貯留し、1日程度で排水できるようになっている。

写真：森本幸裕



Bahnstad 集合住宅の雨樋直結プランタ型の雨庭  
ハイデルベルグ（ドイツ）

雨水を活用したプランタ型の雨庭。プランタからあふれた雨水は水辺との移行帯を通して（魚や抽水植物も生息する）池にもつながっている。

写真：阿野晃秀

## 7. 市民・事業者・行政の協働によるみどりの輪づくり

### みんなで彩る 花とみどりの長岡京プロジェクト

#### ◆目的

本市はかつて都が置かれたこともあり、今も歴史的な情緒の中で四季折々の美しい花や樹木を楽しむことができるまちとなっています。本プロジェクトにおいては、「みどりのサポーター制度」などを活用し、市民・事業者・行政の協働によって市域を四季の花々やみどりで彩る活動を推進します。本プロジェクトを通じ、本市を訪れる人や市民にとって住みたい、住み続けたいと思われるような魅力あふれるまちづくりを目指します。

#### ◆プロジェクトの基本方針

観光や定住都市としてのブランド力向上、まちの活性化などの幅広い視野のもと、花やみどりに関する制度や他プロジェクト等との連携を図り、以下の基本方針に基づく取り組みを実施します。

- 子どもから大人まで幅広い年齢層の市民が楽しみながら身近に参加できる取り組みを推進します。
- 活動のネットワークとして「みどりのサポーター制度」などを活用し、活動を展開します。
- みどりに関する情報提供や技術的支援により、活動を推進します。
- 季節ごとや地域ごとなど、まちを彩る花にテーマ性を持たせるとともに、それに合わせてキャンペーンやイベントなどで活動をPRします。
- みどりと調和した魅力あふれる住環境づくりを推進します。

#### ◆具体的な取り組み・アプローチ

##### ・「みどりのサポーター制度」の活用による緑化活動の推進

- \* 「みどりのサポーター制度」のPRによる普及促進
- \* 花やみどりに係る講習会の開催や技術的支援
- \* 花苗の配布などの物的支援

##### ・花とみどりのネットワークづくりの推進

- \* 「みどりのサポーター制度」を活用した花とみどりのネットワークづくりの推進
- \* 花の色彩を統一するなどテーマ性を持たせたキャンペーンなどの実施
- \* みどりを語るフォーラムやみどりの写真展、花壇コンテストなどの各種イベントの実施
- \* 表彰制度の活用による取り組みの推進
- \* 小学校区などを単位とした緑化推進プランの作成などの市民参加の場づくり

##### ・プロジェクトのPR

- \* 市域の観光資源や既存のみどりなどと組み合わせた市内外へのPR
- \* 市や地域のイベントなどでの事例紹介